

自分ですめる『学びの一步』

中1技術『技術は未来を創る』（教科書 P.10～13） 名前（ ）

目標：持続可能な未来を創るために、どのような技術が活用されているのか考える。

ステップ1（学習の進め方）

・「持続可能な未来を創るために」について、教科書10ページを参考にして、（ ）に入る言葉を調べよう。

・教科書10ページの電気冷蔵庫（401～450 リットル）の消費電力量の変化をヒントに、どのようなことが読み取れるかを考えて、自分のことばで書いてみよう。

・教科書10・11ページの写真や説明文をヒントに、持続可能な未来を創るために、社会・経済への貢献、省資源・省エネルギー、自然環境の保全を実現している技術について調べよう。

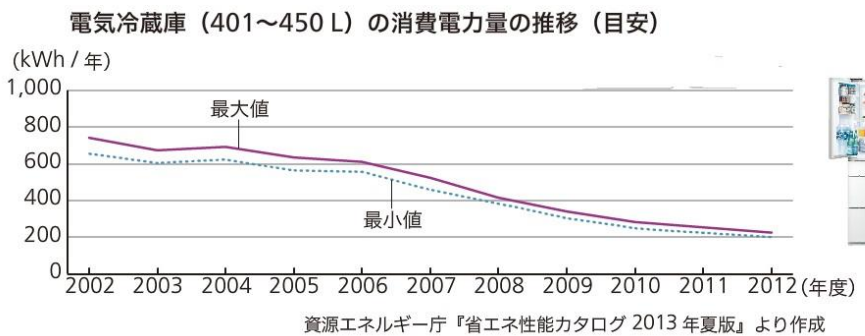
ステップ2（自分でやってみよう）

1.（ ）にあてはまる言葉を書こう。

（ ）の発達によって私たちの（ ）や社会は豊かになりましたが、（ ）や（ ）消費量の増加といった課題も生まれました。

持続可能な未来を創るために、それらの課題を解決する（ ）があります。

2. 次のグラフ（教科書 P.10）からどのようなことが読み取れるかを考えてみよう。



3. 下の3つの場面において、活用されている技術を調べよう。

社会・経済への貢献

省資源・省エネルギー

自然環境の保全

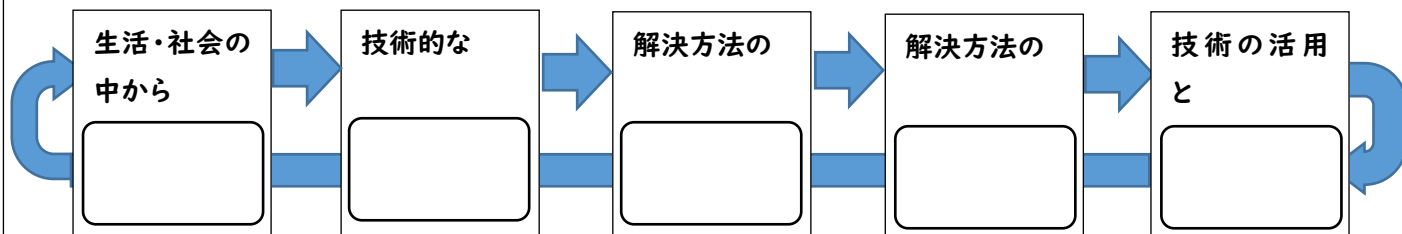
ステップ1 (学習の進め方)

・電気自動車が作られる工程を例に、製品がどのような手順で作られているのかを教科書12・13ページの図をヒントに に入る言葉を調べよう。

ステップ2（自分でやってみよう）



5. の中に入る言葉を書こう。



ステップ3 (学びを生かしてチャレンジ)

6. 上記の電気自動車を例に製品が誕生するまでの過程について、教科書12, 13ページを見て電気自動車かどのような思いで作られているのか考えよう。(開発者の話なども参考にしよう)

--

ステップ4 (学習の振り返り)

1. 持続可能な未来を創るために、どのような技術が活用されているのか考えることができたか。

考えることができた ・ まずまず考えることができた ・ 自信がないができた ・ できなかった

2. 電気自動車がどのような思いで作られているのか考えることができたか。

考えることができた ・ まずまず考えることができた ・ 自信がないができた ・ できなかった

3. 学習を終えて、わからないことや疑問に思ったことを書こう。

--